

先着
各100名

参加料
無料

令和3年度

みやぎ訪問歯科相談室



研修会



在宅歯科医療・口腔ケア従事者等を対象に口腔ケアに関する知識と資質向上を図るための研修会を毎年行っており、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響を鑑みて、オンライン形式で開催いたします。ご予約、研修内容に合わせてご参加ください。また、事前質問を受付しております。申込フォームから日頃の疑問等を気軽にご質問ください。

第1回「要介護者への口腔ケア提供時の工夫」

〔日時〕 1月29日(土) 13:30～14:30 〔講師〕 宮城県歯科医師会 山崎 猛男 先生
常務理事

第2回「障がい児・者の口から全身の健康を守る」

〔日時〕 2月19日(土) 13:30～14:30 〔講師〕 宮城県歯科医師会 河瀬 聡一郎 先生
在宅歯科部会

第3回「口から見える高齢化社会」

〔日時〕 3月12日(土) 13:30～14:30 〔講師〕 宮城県歯科医師会 川村 洋 先生
在宅歯科部会

＊詳しい内容は裏面をご確認ください。

お申込方法

- ＊ 宮城県歯科医師会HPの最新情報からお申込ください。右記QRコードからもアクセスできます。
- ＊ ご入力いただいた情報は本研修会関係以外での使用はせず、主催者のみで保管し、本人の許可なく第三者に開示・提供いたしません。
- ＊ お申込後、完了メールが届きます。入力内容や事前配信テストの案内を記載しております。ご確認くださいませよう、よろしくお願いいたします。



お問い合わせ先:
宮城県歯科医師会事務局

TEL 022-222-5960

URL <https://www.miyashi.or.jp/>

MAIL miyuki@miyashi.or.jp

***** 各研修会事前抄録 *****



第1回 「要介護者への口腔ケア提供時の工夫」

宮城県歯科医師会
常務理事 山崎 猛 男 先生

「口腔ケア」は要介護高齢者にとって、肺炎などの様々な疾病の予防にもつながる非常に重要なツールです。在宅にあっては介護されているご家族、施設にあっては介護職員や医療職が「口腔ケア」の担い手です。しかし、皆様「口腔ケア」の重要さはご理解されていても、十分に出来ているのだろうか、方法はこれで正しいのだろうか、麻痺などの障がいがあるため上手に出来ない、介助も難しい、あるいは認知症のため「口腔ケア」を受け入れてくれない、、等々、さまざまな問題があり、思ったように出来ないことも現実かと思われま。また、介護の現場での多忙さから、ついつい「口腔」は後回しになってはいないでしょうか。今回は、ご家族や介護現場で頑張っている皆様が「口腔ケア」を悩まず上手にできる、ちょっとした工夫や秘訣について、私の拙い経験からお話しさせていただきます。一助となれば幸いです。

第2回 「障がい児・者の口から全身の健康を守る」

宮城県歯科医師会
在宅歯科部会 河瀬 聡一朗 先生

障がい児・者の中には、口腔内に不調を感じてもその症状を口に出せず、重篤化してしまう方が多くいます。結果、口腔内疾患が全身疾患に繋がり命を落とすこともあります。

では、歯科に定期的に受診すれば良い、という発想に繋がるかと思えます。もちろん、それも大切な事です。障がい児・者は健常者以上に歯科による口腔管理の徹底が必要不可欠です。

当県でも口腔管理ができる歯科医療機関の充実を図っておりますが、医療機関が充実したところで、患者さんの歯科疾患は完全に治癒しません。治癒したとしても一時的な治癒に過ぎず、口腔疾患の罹患と治療を繰り返すこととなります。

何が大切かと言いますと、医療＋介護＝治療＋予防（口腔ケア）＝完全治癒という方程式を成り立たせる事です。医療と介護が良好な関係性を保つ事が「障がい児・者の口から全身の健康を守る」に繋がります。今回は、この方程式について具体的にお話をさせていただきます。

第3回 「口から見える高齢化社会」

宮城県歯科医師会
在宅歯科部会 川村 洋 先生

口は空気と食べ物が入っていくところであり、声や言葉を発するところでもあります。特に高齢の患者さんや要医療介護の方々にとっては食事とコミュニケーションという日常の中で大事な活動を支える器官です。口腔ケアはそこのお手入れをする大事なお仕事になるのです。人の身体のケアはきれいにすると同時に刺激を与えることになり、その刺激が適切であればハビリ効果を生むことにもなります。

口は人間にあいている穴では最も複雑で多様な機能がある臓器です。唇はただの円状ではなく舌は自在に形を変え頬と喉は口の中を広げたり縮めたりします。そして何より人間の穴で唯一硬い歯があるのが口です。そのおかげで呼吸と食事をしながらおしゃべりをしたり歌ったりすることができるのです。

令和4年度介護保険改正で「口腔衛生の管理」は基本サービスに包括（義務化）になりました。口を守る事が高齢化社会を支える何かになると国も考え始めたのかもしれませんが。